立花高等学校通信　～ゆっくり・のんびり・まったり～

パイルアップ

第15号
令和8年７月9日
文責 校長

考査

私の高校時代の考査にまつわる一番の思い出を聞いて下さい。高校3年生の時でした。私は勉強は大の苦手でした。当時は知る由もなかったのですが、間違いなくADHD（注意欠陥多動性障害）とLD（学習障害）を有していたと思います。授業がとにかく苦痛でした。宿題をやろうにもわかる問題がなく白紙で提出するしかありません。そんな高校3年生の夏に、ついに全人数中最下位の番数を取ったのです。忘れもしません。理科は8点、数学は0点、英語は宿題未提出の累積で－33点でした。

さすがに落ち込んだのですが、そんな失意の私をいつも厳格だった父は怒りませんでした。それどころか「よしよし！ひっくりかえしたら一番じゃ！！」と謎の激励をしてくれたのです。あの場面は41年前のことなのに忘れることができません。そしてその日の夜から、あえて私を叱らなかった両親を喜ばせたい一心で、自分の意志で火が付いたように猛勉強を始め、翌春の奇跡の大学合格に至ったのでした。

本校ではなぜ考査があるのでしょうね？考査はありますが、別に番数をつけるわけではありません。人にはみな苦手も得意もあります。そもそもあなたと他人は異なる存在なのですから比べる必要もありません。立花ではこれからもずっと君たちに順位をつけて評価することはないでしょう。数字であなたたちの魅力は語れないのです。

本校での考査の意味、それはあなたが考えることだと思います。私には私の考えがあります。しかしそれはあくまでも私の考えであり、異なる存在である君たちにも君たちなりの意義が生徒さんの数ほどあって良いと思っています。ただしひとつだけ。先生方もまた先生方なりの想いと願いをこめて問題を作ります。点数より大切なことは一生懸命準備して一生懸命受験する「姿勢」だと思います。みんな100点なのです。

【来週の予定】

日　曜	学年	1	2	3	4	5	6	7
13（月）	全学年	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
14（火）	全学年	前期考査　初　日				放課後		
15（水）	全学年	前期考査　二日目				放課後		
16（木）	全学年	前期考査　最終日				放課後		
17（金）	全学年	前期閉講式				プレミアムフライデー		

mamas café　来週の日替わりランチ

13（月）	14（火）	15（水）	16（木）	17（金）
ネバネバうどん 野菜の天ぷら みそ汁・おにぎり	回鍋肉 春巻き スープ	チンジャオロース 和え物 春雨スープ	カツカレー コールスロー スープ･ヨーグルト	きのこスパ サラダ スープ・パン

（今日のイイね！）

立花高校から歩いてほんの数分にある朝鮮初級学校朴校長先生とのツーショットです。とても仲良しなのです。

後ろに見えるのは同校の校章です。和白干潟に朝鮮半島から毎年飛来してくる「クロツラヘラサギ」という渡り鳥を表しているそうです。

授業を拝見しましたが、子どもたちはみんなニコニコと楽しそうで、私に元気よく挨拶をしてくれました。過去の歴史は哀しくても、我々の力で必ず素敵な未来が訪れると信じています。